

公社) 日本山岳会栃木支部 2024年10月マスターズクラブ山行報告書

- 1 期日：2024年10月16日(水)
- 2 場所：那須岳・姥が平(栃木県那須町)
- 3 コース：峠の茶屋県営駐車場ー峰の茶屋跡ー牛ヶ首ー姥が平、ひょうたん池ー峰の茶屋跡ー峠の茶屋県営駐車場
- 4 参加者：菱田克彦、君島敏明、村田美代、鈴木清一(ゲスト)

5 行動概要

峠の茶屋県営駐車場に集合。13日の新聞に「姥ヶ平は全体の7割ほどが色づいている。今週半ばをピークに20日ごろまで楽しめる見込みだ。」とあったので、混雑を想定していたが、天気予報があまり良くないためか、駐車場に車は多くなかった。予報に反して、雲は少なく青空が広がっていた。

6:30、駐車場を出発。樹林帯を抜けると、風が強くなった。沢の向こう側の朝日岳から鬼面山の斜面がとてもきれい。



7:30、峰の茶屋跡に到着。この場所では普通のことだが、風が強く、ここからは登りはなく茶臼岳を巻いていくので、上着を再び着て、10分ほど休んだ。牛ヶ首に向けて進むと、ほどなくして、今日の目的地、姥が平とひょうたん池が見えてくる。新聞のとおり、紅葉が素晴らしい。無間地獄のから吹き上がる水蒸気は、近年非常に少なくなっている。



8:10、牛ヶ首に到着。絶景を楽しんだのち、ほんの少し戻って、姥が平に下った。8:40、姥が平に到着。あまりの美しさに時間の経つのも忘れてしまうほどだった。ひょうたん池まで行った



のち、9:30、帰路についた。

当初の計画では、この後、茶臼岳山頂へ行くはずであったが、雲がだんだん低くなってきて、山頂がガスの中になってしまったので、まっすぐ下山した。

その後、君島会員の経営する明賀屋本館と同じく、『とちぎ にごり湯の会』の中藤屋旅館で温泉という名の至福を味わい、さらに君島会員のお知り合いの店で、昼食をとって解散した。

朝早く出かけたので、日差しがあるうちに紅葉が見られてとても良かった。山は、早い時間から行動するのが一番。

(菱田 記)

行程図

